

日頃の応援に感謝いたします！

まさこ

いとう正子

■ 発行・川越市議会議員 いとう正子

■ 事務所 川越市伊勢原町5-5-3 グリーンcommons川越1-204

☎ 049-233-8034

✉ info@ito-masako.com

🌐 <https://ito-masako.com>



もやっています！



目指すはまちづくり
暮らしやすい
すくすく
すすい

これまで行ってきた一般質問

市民生活の一層の充実のために、行政への働きかけを行っています。

2025年3月 市民サービス向上で、市民と共にまちづくりを
心の健康を学んで自分を大切にしよう

1. 市役所の仕事の進め方改革で市民サービスの向上
2. 学校の諸課題を考える8 — 子どものメンタルヘルス

2025年6月 障害のある人の暮らし充実のために、市はどう取り組むのか

1. 障害のある人の暮らしへの理解と改善について

2025年9月 暑さ対策のため、室内で遊べる場所の創出を

1. 川越駅・本川越駅・川越市駅周辺の賑わいについて
2. 子どもの遊びと居場所について

2025年12月 支援拡充でも子育ては大変、新しいニーズの探求を
地域を切り口に新しいまちづくりの視点を

1. 親子のライフステージにあわせた子育て支援
2. 霞ヶ関地区のこれからについて



清溪セミナーにて
講師の小島さん(右から2人目)、女性議員の皆さんと



武蔵野市の給食センターを視察

2025年も、どの人も暮らしやすい社会を目指し、ジェンダー平等の実現を掲げ、国立女性教育会館を利用し続けられるようにと活動をしてきました。ご協力に感謝します。

他には、まちづくりと交通政策や物価高騰とひとり親支援・家計急変・給食への支援に取り組んできました。ライフワークでもある防災や環境問題、保育施設の安全や適切な運営についても取り上げました。いくつになっても住み慣れた地域で暮らせるよう介護ヘルパーや福祉事業者への支援も提案しました。小中学校の適正規模・適正配置の検討が行われています。トイレも含めた学校改修や体育館に設置した空調を日頃から利用できるよう働きかけています。

伊藤正子の発言は
川越市議会ウェブサイトにあります

● 川越市議会 | 会議録検索
<https://www.city.kawagoe.saitama.db.sr.jp/>



議会は市役所でどなたでも傍聴できます
インターネットでライブ中継・録画中継もしています

● 川越市議会 議会中継
https://smart.discussvision.net/smart/tenant/kawagoe/WebView/rd/council_1.html



議員って何しているの？

議会での活動をはじめ、各種委員会や審議会、川越市の各行事に参加したり、福祉・介護・子育て応援・女性問題などの議員活動に必要な勉強をしたりしています。

新しい年も一生懸命活動します。皆様よろしくお願いします。

かわごえ「おしゃべりの集い」にお出かけください

〈日時〉2月20日(金) 午前10時~12時(予定)

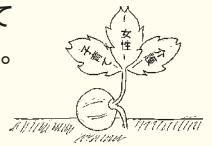
〈場所〉伊勢原公民館 講座室 (伊勢原町5丁目1-1)

申し込み不要 入場無料 途中入退場可能 お子様連れ歓迎!

咳エチケットにご協力をお願いします! 自宅での検温をお願いします

諸事情で日時等を変更する場合は、HPでお知らせします

親の介護をはじめて
23年が過ぎました。
ふたりの子どもを
育てています。



おしゃべりの集いってなあに?

議会で決まったことや川越市の取組について説明したり、皆様からの質問や相談にお答えしたりします。

12月定例議会(12/2~12/24)でした



質疑の様子

第五次川越市総合計画基本構想が策定されました。将来都市像は、「**ずっと安心、もっと幸せ、魅力あふれるまち 川越**」です。最上位計画で、これからの10年間のまちづくりの指針となります。初めて、人口が減少する予測が示され、それでも生活を維持できるように環境を整備していきます。わたしは、質疑を行い、全ての人が取り残されない考え方が確認しました。

他には、「**こども誰でも通園制度**」の本格実施に向けた条例制定、総合福祉センター等の指定管理者、災害対策用備品の購入等が決まりました。

録画中継や議会だよりもご覧ください。

川越市重度心身障害者医療費について

①1981年に始まった身体障害者手帳4級の方への医療費助成(所得制限あり)の見直しが行なわれ、制度開始時は66%程度だった経常収支比率が、現在99%である等から、市独自の制度は取りやめる。②県からの支援が始まる精神障害者保健福祉手帳2級の自立支援医療への市助成を開始する。①と②が同じ条例であることから、同時に審議され、賛否を求められました。反対すれば、②の支援は行われないことから、賛成しました。①の助成は、2027年7月まででその間に障害者等級の見直しや相談が行なわれます。

国保税引き上げが続いています

県は、保険料の県内統一を推進し、市一般会計から補填できない制度に変えたため、負担増となっています。国保は収入無しや年金の方が多く加入しているため、仕組みに課題があり、これ以上の負担増は厳しさが更に増えるので、国県に新たな助成を要望するよう市に提案しています。

国立女性教育会館を女性支援の拠点に

男女平等の推進に欠かせない施設です。2025年度末で宿泊できなくなり、2026年度末で研修棟も使えなくなります。2月21日(土)午後2時からお茶の水女子大学名誉教授戒能民江さんをお迎えして「**女性支援法に基づく行政の取り組み、見直しは?**」を国立女性教育会館で開催します。今年も施設存続への応援ありがとうございました。

近況報告

川越まつりに
参加しました

「ゲノム編集技術応用食品の表示の義務化を求める意見書」を国に提出することを求める請願書の紹介議員になりました。



困りごとの相談もお受けしています。



◀ 川越市のホームページも
ご覧ください

<https://www.city.kawagoe.saitama.jp/>

年末年始の発熱は
川越市医師会休日診療所
(049-222-3330)へ



◀ 埼玉県のホームページも
ご覧ください

<https://www.pref.saitama.lg.jp/a0703/20091228iryou/?pagePrint=1>

2026年が、皆様にとって良い年となりますよう、がんばります!

まさこ いとう正子



〈家族〉夫、大学生と高校生の息子の4人暮らし

〈趣味〉マンドリン演奏、第九合唱とソフトバレーボール

現在3期目 保健福祉常任委員 ICT活用推進委員

子育て・教育・介護のことなら まかせてください

1975年 1月1日 埼玉県生まれ

1997年 昭和女子大学文学部日本文学科卒業

2014年 東京国際大学大学院臨床心理学研究科修了・臨床心理士合格

2015年 初当選 保健福祉・文化教育・産業建設常任委員会

いじめ問題対策特別委員会、防災・減災特別委員会

2020年オリンピックパラリンピック対策特別委員他歴任

市民相談をお受けしていますので、お気軽にご連絡ください。

☎ 049-233-8034 ✉ info@ito-masako.com いう正子 🔍 検索

